

1 会長挨拶（14：30）

- ・父親と来店した女兒 「学校が楽しい」
- ・自動車乗用中 自動車に先に行くよう促す高齢者
- ・青少年育成委員の講話より 地域は「ななめの関係」
- ・令和6年能登半島地震 小学生ボランティア

2 校長挨拶

- ・R6 開校 150 周年 羽島市歴史民俗資料館展示
- ・大谷クラブ紹介
- ・感染症状況（学級閉鎖）

3 授業参観

- ・フリー参観

4 竹鼻小学校の現状について（校長より）

- ・元気に登校 笑顔で下校 心ふるえる竹鼻小
- ・学校評価アンケート結果より
- ・たけのこライオン賞
- ・教職員の働き方改革

5 令和6年度学校経営構想について（校長より）

- ・元気に登校 笑顔で下校 自分で・自分たちで考え動く竹鼻小
- ・元気・笑顔・自分（達）プラン 2024

6 意見交流

委員

- ・プールはどこで実施しているか。（竹鼻中はプールがない）→プールで実施している。

委員

- ・学校が楽しい、先生がおもしろい。
- ・5年国語：苦手だが内容が楽しい。1年生活：2年生に向けて成果の発表。恥ずかしいだろうが一生懸命。
- ・R5市P連副会長。PTAの力を入れ方に学校間格差がある。

委員

- ・今週末、生涯学習交流会が開催される。
- ・秋には、健康ウォーク等でお世話になった。
- ・授業は、学年の終わりであるので、和やかにリラックスして行われている。

委員

- ・叱るけれどかわいがる、メリハリが大切である。
- ・5年1組の授業は、聞き取りやすい説明であった。子どもが楽しく発表していた。

委員

- ・1、2年は保護者が多かった。高学年に行くほど少なくなる。
- ・いじめ、暴力、不登校は、どの学校でも起こりうる。竹鼻小は、他校と比較すると少ない。
- ・卒業の時期、交通事故や不審者に気を付ける。

委員

- ・子どもの関係が、コロナ前に戻りつつある。
- ・授業は、学級間の差はあるが、全体的に落ち着いている。
- ・1年生の発表は45分間だが、どの子も集中している。仲間の発表を受け入れる心が育っている。

- ・タブレットの効果は大きい。発表の小さな声や書く力や姿勢など、マイナス面の指導を行う。
- ・不登校は問題ではない。学校に来ることが全てではない。その子が力を発揮できる場があることが大切である。
- ・16年前の岐阜市教育長の話。学校に先生になりたい子どもは何人いるか。教え子が何人先生になったか。

委員

- ・1、2年しか参観できなかったが、笑顔、元気、明るい。授業にあらわれている。
- ・1年1組：落ち着いている。しっとりと聞いている。
- ・1年2組：発表で、女子3人がはっきりと話していた。
- ・掲示等で、別院のことがよく分かった。藤の話等、地域との関りがあるので、また来てほしい。
- ・不登校対策では、居場所づくりが大切である。

委員

- ・青山学院大学 原監督の話
 - 学校の教育目標を子どもが理解すること。目標をもつこと。
 - 夢をもつことは難しい。夢のもち方を教える。今は多くの経験をする。
- ・PTA 会長を務めた経験
 - 学校のこと、子どもたちのことがかわいくなる。
 - PTA 会長と校長が、同じ方向を向くことが大切。
- ・地域と子どもとの信頼関係はあるか？ 可視化できるもの（例：缶バッジ）があるとよい。

委員

- ・地域のおじさんおばさんが、不審者に思われる。
- ・ジャケットやバッジで、不審者ではないと分かるようにする。

委員

- ・災害等のいざという時に、信頼できる人と分かる。

委員

- ・バッジがあると、ウォーキングの時に声掛けができる。

7 その他（教頭より）

- ・R5 補助事業実施報告書（R5「コミュニティ・スクール推進事業」報告資料）について
- ・R5 羽島市学校評価書について
- ・R6 「コミュニティ・スクール推進事業」計画書について
- ・R6 学校運営協議会委員一覧表について ※竹鼻交番長：異動があれば交代
- ・R6 竹鼻小学校コミュニティ・スクール運営組織について
- ・R6 竹鼻小学校行事一覧について